

2007年（平成19年）度 第2回常務理事会記録

日時：2007年（平成19年）3月27日（火）15:30~16:30

場所：大阪国際会議場 8F 801号室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、川村知子（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2007年（平成19年）度第1回常務理事会記録、同摘録（案）

2007年（平成19年）度第1回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

（1）会員異動報告（正会員 2,148名、平成19年2月28日現在）

平成19年2月分（入会者 正会員 11名、学生5名、退会者 正会員14名、学生6名）

逝去会員：舘 鄰氏（東京大学／永年会員）平成19年2月15日逝去（享年68歳）

（2）会費納入状況（長期未納者の除名について）

4年未納者（除名対象者）および3年未納者のリストが提示された。なお、学会事務センター倒産の際、会員に会費の納入の停止を依頼し、その後新たな支払い口座を開設し解剖誌に公示したが、会員側の住所変更でその通知が届いていなかった人からこのたび連絡があった。扱いについて常務理事会で審議したところ、連絡がつかなかったこともあり、未納分の支払いは求めないが、その間は会員歴には含めないとする事とした。

（3）学会宛文書等

①通知・依頼 18件の通知、依頼が届いている。

②書籍、定期通信他 4件の書籍、定期通信等が届いている。

（4）ホルマリンの取り扱いに関するヒアリング

厚生労働省労働基準局より、職場で扱われる化学物質の健康障害防止のためのリスク評価事業に関係して、ホルマリンの取り扱いに関するヒアリングをおこないたいとの申し入れがあった。この件に関し、児玉解剖体委員長にも相談した結果、坂井建雄順天堂大学教授に対応して頂くことになった。なお、ヒアリングは平成19年2月23日に無事終了した。

（5）解剖学用語集の出版

医学書院から出版されたことが報告された。

2. 編集報告（柴田編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告

両誌の82巻1号が3月1日に発送されたことが報告された。

(2) その他 Blackwell 社の Wiley 社との合併の進捗状況について

合併が英国において2月2日に承認されたこと、日本の Blackwell 社は存続すること、Wiley 社はアジアには拠点を持っていなかったため、影響はあまりなさそうであることなどが報告された。

3. 企画・渉外報告 (河田企画・渉外担当理事)

(1) 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

順調に進んでいる旨の報告があった。

(2) その他

①海外学術団体との交流 本日昼、海外交流委員会がおこなわれ、IFAA、APICA などについて、経緯、現状、見通しについて話した。今後、新執行部で十分に検討して頂き、それをもとに、海外交流委員会での活動をおこなってゆきたい旨の報告がなされた。

②廣川理事長よりドイツ解剖学会への出席に際し、今後の交流の可否について諮りたい旨の提案がなされた。これに対しては、進めるべきであるとの結論が出された。

III. 審議事項

1. 平成18年度決算および業務監査報告

資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

2. 平成19年度予算案

資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果承認された。

3. 平成19年度総会・学術評議員会資料および議事進行の確認

資料をもとに確認がおこなわれ、承認された。

4. その他

文部科学省より「法人の実地検査」についての連絡が入った。4月9日までに日程調整をおこない、学会所在地で実施される予定である。なお、この検査は5年に1回おこなわれているものである。